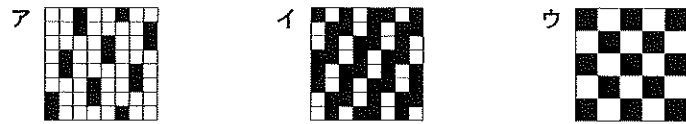


2級（和服）筆記問題

1. 平面構成について述べているものを、アからエまでの中から二つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。
- ア 手縫いを主とし、縫いしろにきせをかける
 - イ 布をいせる、のぼすなど、くせとりをする
 - ウ ダーツ、ギャザー、タックなどがある
 - エ 縫いしろは裁ち切らないで、折り込んで落ちつかせる

2. 斜文織を変化させたものを、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



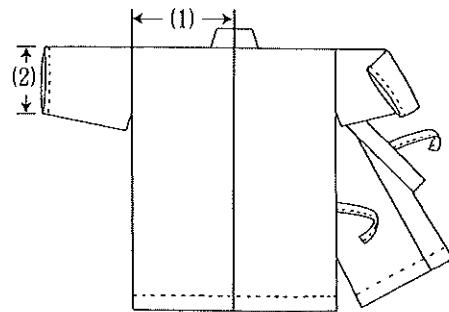
3. 下図の(1)・(2)の和服の柄の名称をアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



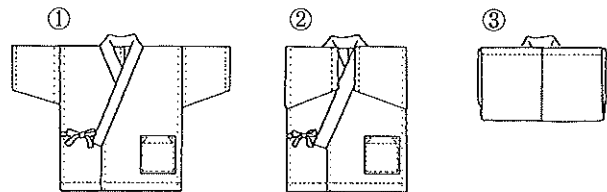
4. 次の(1)・(2)は和服地の幅である。一般的な寸法を、アからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 広幅 (2) 半幅
ア 18cm イ 91cm ウ 36~38cm エ 72cm

5. 大人用じんべいのできあがり図を見て、(1)・(2)の各部の名称を解答欄に記入しなさい。



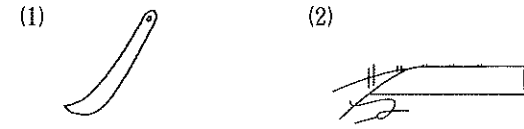
6. 下図①から③は大人用じんべいのたたみ方を順に示している。(1)から(3)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



図①のように前身ごろを合わせる。次に図②のようにそでを前身ごろ側に倒す。最後に図③のようにすそを(1)に合わせ、身ごろを(2)の長さに折る。このようなたたみ方を(3)という。

- ア 前 イ 肩山 ウ 半分 エ 本だたみ オ 1/3 カ 夜着だたみ

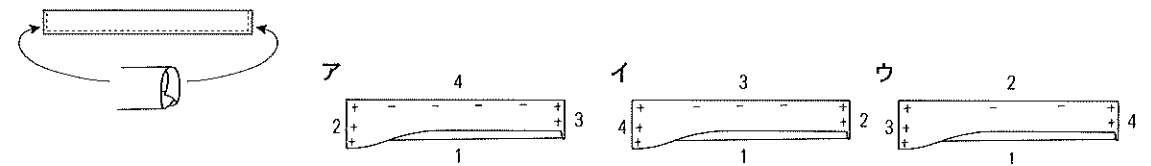
7. 下図の(1)用具の名称と、(2)縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。



8. 次の文はじんべいの縫い方の説明である。(1)・(2)に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・背縫いは耳の場合(1)にし、左身ごろ側に倒す
 - ・そでつけ縫いしろの始末は(2)とする
- ア 二度縫い イ 耳ぐけ ウ 袋縫い エ 本ぐけ

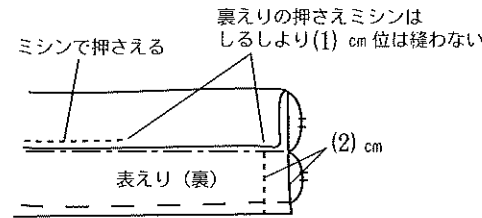
9. 下図のようにひもを仕上げるためにはどのような順序で縫いしろを折ればよいか、最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(図中の数字は折る順番である)



10. 90cm幅の洋服地（無地）でじんべいを製作する場合、布の見積もり方として最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(身長160cm, 腰囲90cmの体型とする)

- ア 着たけ×2 + そでたけ×2
- イ (着たけ+3)×2 + (そでたけ+2)×2
- ウ (着たけ+3)×2 + そでたけ

11. 下図はじんべいのえりつくりを示したものである。(1)・(2)に最も適する寸法をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 15 イ 0.5
ウ 2.5 エ 1

問題	1		2		3		4		5		6			7		8		9	10	11	
			(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)
2級和服(第45回)																					
解答																					
得点																					
学校名			高校		学年		組		番号			氏名				合計					

2級（和服）筆記問題

1. 次の文は織物の組織について述べたものである。(1)から(3)に最も適するものを、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

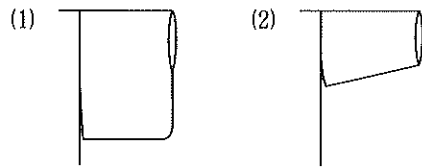
織物の基本組織には平織・斜文織・(1)の三原組織がある。これらの組織を基にした変化組織には、いろいろな種類がある。その他、毛羽でおおわれている(2)・ピロード、ループ状の糸が表面を包んでいる(3)などの添毛組織、模様を織り出した紋織などがある。

ア コーデュロイ イ ピケ織 ウ タオル地 エ 朱子織 オ 変化組織

2. じんべいに適する生地を、アからエまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア ギャバジン イ サッカー ウ ギンガム エ コーデュロイ

3. 下図の(1)・(2)は、和服のそでの形を示したものである。最も適する名称を、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



ア 広そで イ 長そで ウ 舟底そで
エ 筒そで オ 元ろくそで

4. 大人用じんべいを仕立てるとき、(1)・(2)の縫いしろはどちらの方向に倒すのがよいか。アからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) そで下 (2) 背縫い

ア 後ろそで イ 前そで ウ 左身ごろ エ 右身ごろ

5. じんべいを製作する場合、後ろ幅のできあがり寸法はどの採寸箇所を基準にして決めるとよいか。最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 胸囲 イ 背たけ ウ 腰囲

6. 下図はじんべいのえり先の縫いしろ始末を示したものである。折り方で正しいものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

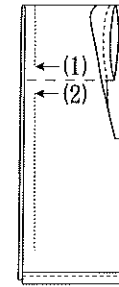


7. 次の文はじんべいのひもつけについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

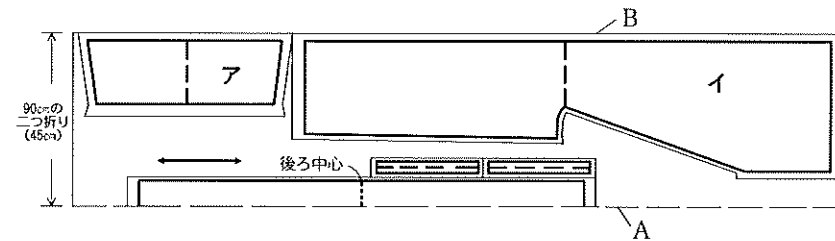
じんべいはウエスト位置を基準にえりとわきにひもを付け、それらを結んで着用する。左の身ごろが(1)となるように着用するため、右わきのひもは身ごろの(2)に出るように、左わきのひもは身ごろの(3)に出るように縫う。

ア 表側 イ 裏側 ウ 下前 エ 上前

8. 下図の(1)・(2)の箇所の名称を解答欄に記入しなさい。



9. 下図は90cm幅の洋服地を使用してじんべいを製作する場合の型紙の置き方である。図中のア・イの名称を解答欄に記入しなさい。また、「耳」の部分は図中A・Bどちらか、その記号を解答欄に記入しなさい。



10. 大人用じんべいを仕立てる場合、最も適する方法をアからウまでの中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

・えりの本ぐけは
 ア 身ごろのえり付けの糸だけをすくう
 イ 身ごろよりえりの針目を大きくすくう
 ウ 身ごろとえりを同じ針目ですくう

問 題	1			2	3		4		5	6	7			8		9			10	
	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	ア	イ	耳		
2級和服(第46回)解答																				
得点																				
学校名	高校				学年				組		番号		氏名			合計				

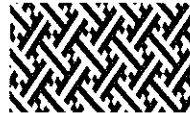
2級 (和服) 筆記問題

1. 毛・麻・ナイロンの三つの繊維を吸湿性の小さいものから並べた場合の順番について、正しいものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 毛・麻・ナイロン イ ナイロン・麻・毛 ウ 麻・ナイロン・毛

2. 右図は和服の柄の種類を示したものである。柄の名称をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 矢羽根 イ 青海波 ウ さや型



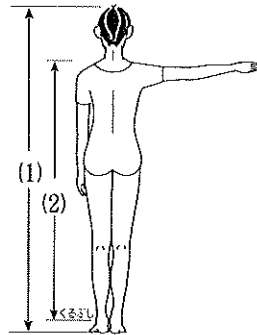
3. 次の文はじんべいについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句を、アからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

じんべいは、長着のたけを短くした形で、そでもひじくくらいまでの短い(1)そでとする。そで幅を広くし、やや(2)の無地の布地を用いると作業衣の上衣となり、ジーンズなどと組み合わせると粋な(3)にもなる。

- ア 筒 イ 元ろく ウ 厚手 エ 薄手 オ 外出着 カ 日常着

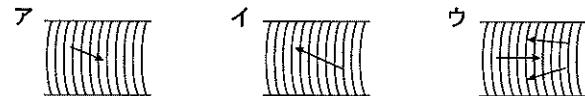
4. 右図の(1)・(2)は採寸箇所を示したものである。適する名称を、アからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 着たけ イ ゆき ウ 背たけ エ 身たけ



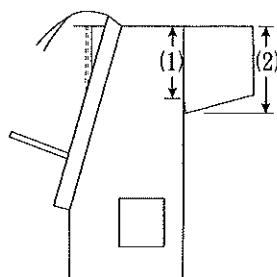
5. 大人用じんべいを製作するためにゆかた地を用意したところ、下図のような布目のゆがみがあった。地直しの方法について最も適するものを、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

状態
横の地の目が
湾曲している



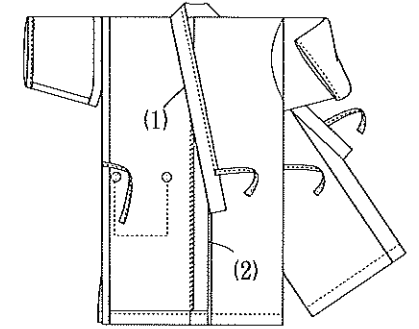
*注 図中の→は引っ張る方向を示す

6. 右図はじんべいのできあがりを示したものである。(1)・(2)の名称を解答欄に記入しなさい。

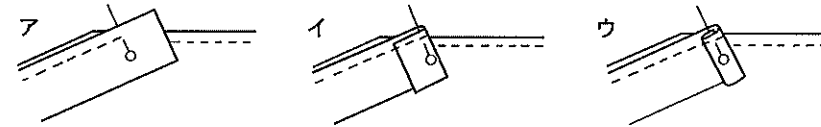


7. じんべいを製作する場合、右図の(1)・(2)の縫いしろ始末について、縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。また、最も適する針目の大きさを、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、解答欄に記入しなさい。

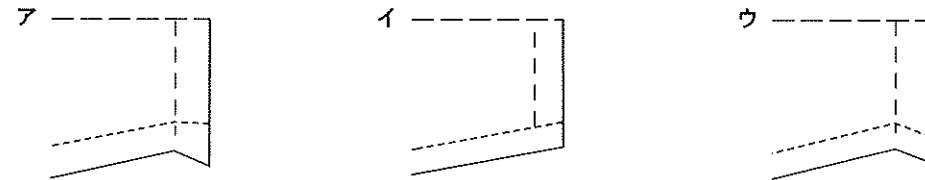
- ア 4cm イ 2cm ウ 1cm エ 0.8cm オ 0.5cm



8. 下図はじんべいのえりつけどまりの縫い方を示したものである。正しい縫い方をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 下図はじんべいのでき下縫いを示したものである。そで口部分の縫いしろのつけ方および縫い方について、最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



10. じんべいの背縫いを袋縫いで仕立てる場合の手順について、(1)から(4)に最も適するものをアからケまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ①背中心を(1)に合わせ、布端から0.5cmのところを縫う。
- ②布を裏返し、折り山が突き合わせになっている状態にする。これを(2)という。
- ③背中心をしるしどおりに縫う。
- ④(3)cmのきせをかけ、縫いしろを(4)身ごろ側に倒す。

- ア 0.2 イ 0.5 ウ 1.0 エ 中表 オ 外表 カ 右 キ 左 ク 四つ止め
ケ 毛抜き合わせ

問題	1	2	3			4		5	6		7		8	9	10			
			(1)	(2)	(3)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)			(3)	(4)		
																	縫い方	針目
2級和服(第47回)解答																		
得点																		
学校名			高校	学年		組		番号		氏名				合計				

2級（和服）筆記問題

1. 次の表は、繊維の性質を示したものである。表の数値をもとにして、(1)・(2)に最も適する繊維名をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

分類	繊維名	比重	公定水分率	引っ張り強さ(乾燥)	引っ張り強さ(湿潤)
		繊維の重さ	繊維の吸湿率	繊維の強さ	水中での強さ
天然繊維	麻	1.5	12.0	6.5	7.7
	毛	1.32	15.0	1.0~1.7	0.8~1.6
化学繊維	アセテート	1.32	6.5	1.2~1.4	0.7~0.9
	ポリエステル	1.38	0.4	4.3~6.5	4.3~6.5

(1) 水にぬれた状態でのひっぱり最も強い繊維

(2) 最も吸湿性が大きい繊維

ア 麻 イ 毛 ウ アセテート エ ポリエステル

2. 風合いに関する加工法をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 透湿防水加工 イ プリーツ加工 ウ シルケット加工

3. 次は和服の特徴について述べたものである。正しいものをアからエまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 着つけは容易で体にぴったり合い、活動的である

イ 同寸の着物を、体格に多少の差があっても着ることができ、融通性がある

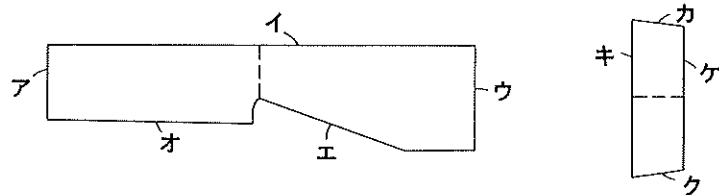
ウ 平面の布を直線的に構成し、立体的に着用するものである

エ 平面の布を体型に合わせて、立体的に構成したものである

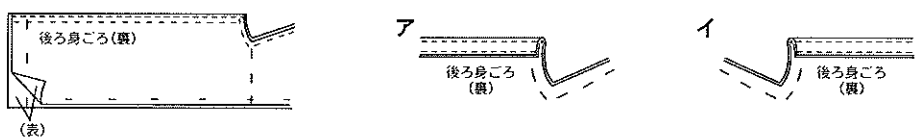
4. 下図は並幅のゆかた地を用いたじんべいの裁ち方を示したものである。(1)・(2)の各部の名称を解答欄に記入しなさい。

				(1)	(2)	(2)	ポケット	ひも
				(1)				

5. 下図はじんべいの身ごろとそでの型紙を示したものである。布の「耳」にあわせて裁断する箇所を、アからケまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. 下図のようにじんべいの背縫いをした場合、縫いしろの倒し方で最も適するものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

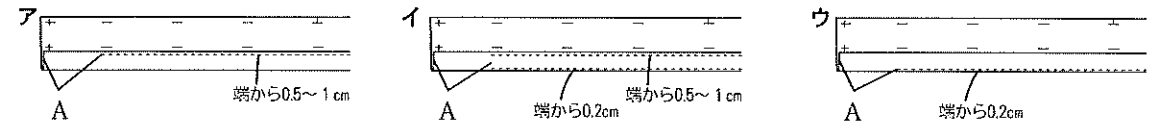


7. じんべいのそで下はどのような縫い方をするか、最も適する縫い方をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 本ぐけ イ 袋縫い ウ 二度縫い

8. 下図はじんべいのえりつくりを示したものである。(1)・(2)の間に答えなさい。

(1) えりしんになる部分の押さえミシンのかけ方について最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



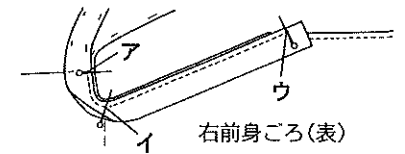
(2) 図中Aの部分に最も適する寸法をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 5cm イ 15cm ウ 30cm

9. 右図はじんべいのえりつけのまち針を打つ位置を示したものである。(1)・(2)の間に答えなさい。

(1) アは身ごろのどの位置と合わせるとよいか。名称を解答欄に記入しなさい。

(2) アからウまでの中で、1番目と2番目にまち針を打つ位置をそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



10. 次の文は、じんべいのわきの始末について述べたものである。(A)に適する語句を解答欄に記入しなさい。また、(1)・(2)に適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

わきの縫いしろ始末は(A)とし、(1)・そでつけどまり・(2)・スリットどまり・すその縫いしろの端をとめる。

ア 肩山 イ そで山 ウ 身八つ口どまり エ えり端

11. 右図の糸の結び方の名称をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア はた結び イ こま結び ウ 留め結び



2級和服(第48回)	問題	1		2	3	4		5	6	7	8		9		10		11	
		(1)	(2)			(1)	(2)				(1)	(2)	(1)	(2)	A	(1)		(2)
解答																		
得点																		
学校名					高校	学年	組	番号	氏名				合計					

2級 (和服) 筆記問題

1. 次の文は和服について述べたものである。アからエまでの中から正しいものを二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 和服の形は、上前になる左身ごろが大きめにできている
- イ 和服は一反の布を数種の長方形に裁断し、縫い合わせ、余分の縫いしろはすべて切って仕上げる
- ウ 和服の形は長方形の布で構成され、男女による差も少ない
- エ 和服用の布地は、一般に反物を用い、一反は並幅約36~38cm、長さは11~12mである

2. 次の(1)・(2)は和服の製作に用いる用語である。最も関係のある説明をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

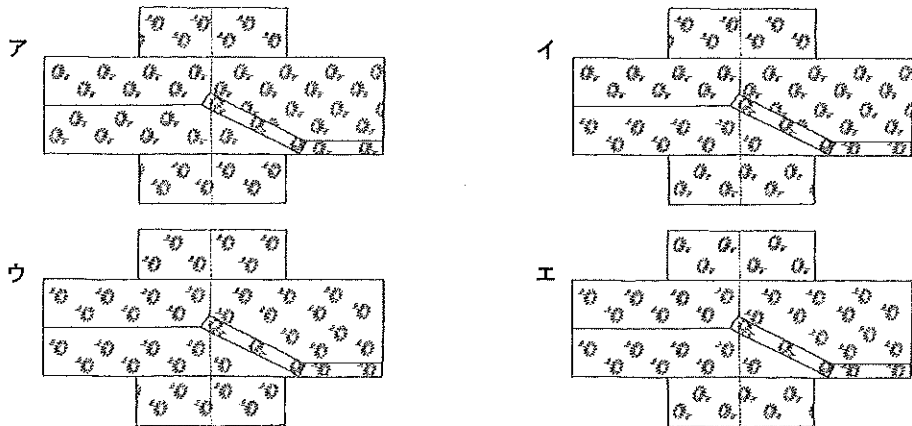
(1) 糸じるし (2) 糸こき

- ア 縫っている途中で糸が無くなった場合の処理である
- イ 運針やまつり縫いの途中または終了したあと、糸のつれやたるみをなくすため、指先でしごいて縫い目を平らになおすこと
- ウ 糸でつけるしるしのこと。へらのきかない布やへらを使うといたむおそれのある布の場合に用いる
- エ 二枚以上の布を中表に合わせて、しるしどおりに縫うこと

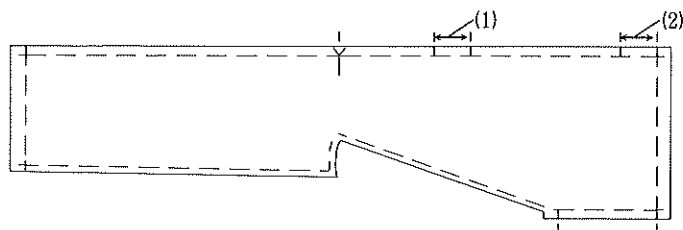
3. 大人用じんべいの用布として最も適切なものを、アからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 綿ネル イ さらし ウ 新モス エ 上布

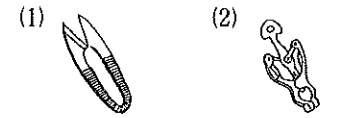
4. 下図はじんべいの柄合わせについて示したものである。最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



5. 右図は女物のじんべいの身ごろのしるしつけを示したものである。(1)・(2)の名称を解答欄に記入しなさい。



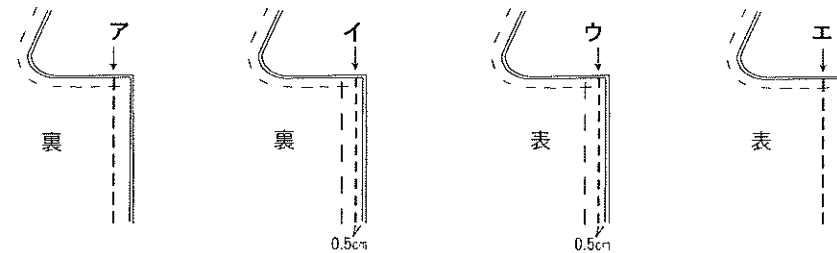
6. 右図は和服の縫製に使用する用具である。(1)・(2)の名称を解答欄に記入しなさい。



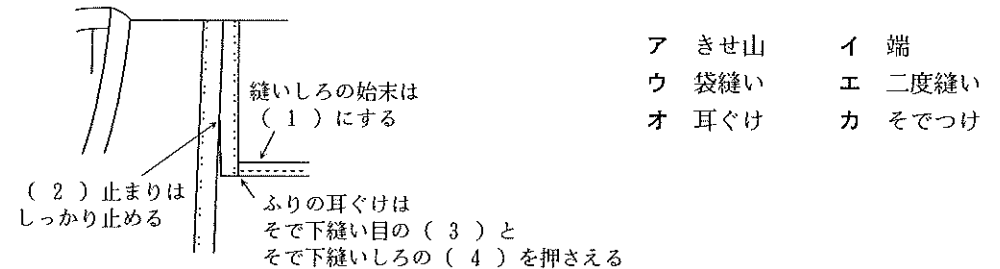
7. 次の文はじんべいの仕立て方について述べたものである。(1)から(5)に最も適する語句をアからコまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(同じ記号を二度使用してよい)

- ・そで口は (1) またはミシンがけにする。
- ・すそは折りぐけ、またはミシンで (2) とする。
- ・えり下は、(3) とし、すそ縫いしろ部分も表まで針目を出す。
- ・ひもは共布で4本作り、(4) 位置を基準に (5) とわきにつける。
- ア えり下 イ えり端 ウ 本ぐけ エ 袋縫い オ 二度縫い
- カ 三つ折りぐけ キ まつり縫い ク 三つ折り縫い ケ ウエスト コ バスト

8. 下図はじんべいの背縫いの縫い方を示している。背縫いを袋縫いにする場合、中縫いの正しい縫い方をアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(背縫いしろは1.5cmで、耳を使用していない)



9. 下図はじんべいのそでつけおよび縫いしろ始末について示している。図中(1)から(4)に最も適するものをアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



問題	1	2		3	4	5		6	7					8	9					
		(1)	(2)			(1)	(2)		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		(1)	(2)	(3)	(4)		
2級和服(第50回)解答																				
得点																				
学校名	高校		学年		組		番号		名前						合計					

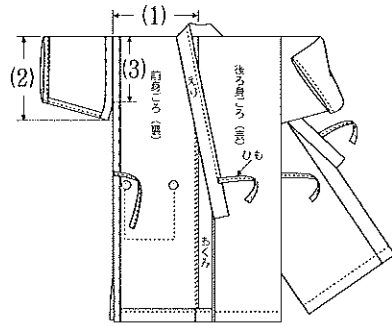
2級（和服）筆記問題

1. 次の文は針について述べたものである。(1)・(2)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

針は布地に適したものを選ぶことが大切である。綿の縫い針には3の2や3の3、くけるときやしつけをかけるときには、3の4や3の5を使うとよい。針の名称のはじめの数字は（ 1 ）を表し、数字が大きいほど（ 2 ）なる。

- ア 太さ イ 長さ ウ 細く エ 太く オ 長く カ 短く

2. 大人用じんべいのできあがり図を見て、(1)から(3)までの各部の名称を解答欄に記入しなさい。

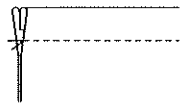


3. 下図の(1)から(3)は和服の柄の種類を示したものである。それぞれの名称をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



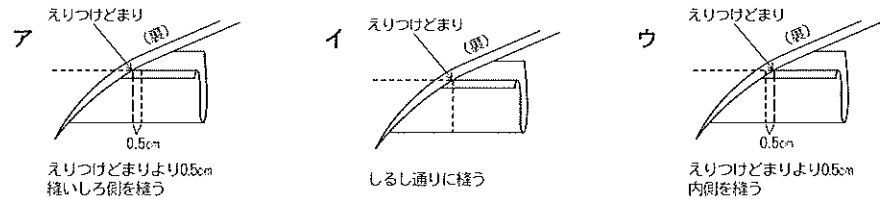
- ア 七宝 イ 青海波
ウ 麻の葉 エ 唐草

4. 次の縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。



5. じんべいのえり先のしまつについて、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

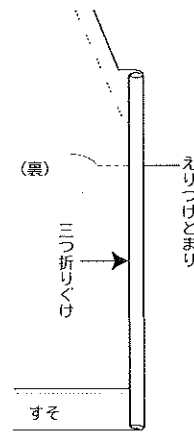
(1) 下図のえり先を縫う位置が最も正しいものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



(2) えり先の縫いしろの折り方で最も適切なものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. 下図はじんべいのえり下の三つ折りぐけの図である。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。



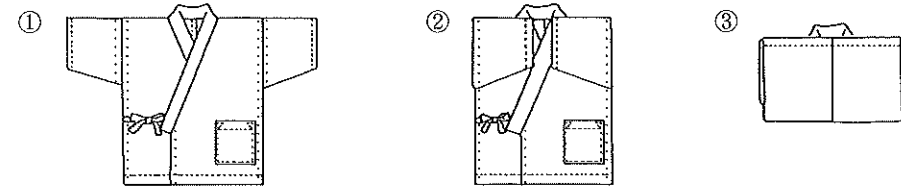
(1) えり下の三つ折りぐけをするところで最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア えりつけどまりからすそ線まで
イ えりつけどまりより4cm上からすそ線まで
ウ えりつけどまりより4cm下からすそ線まで

(2) 三つ折りぐけをすそ線まで表に針目を出して縫う理由で最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 縫い目が飾りになるため
イ すそが伸びないようにするため
ウ 縫いしろを落ち着かせるため

7. 下図①から③は大人用じんべいのたたみ方を順に示している。(1)から(3)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



図①のように、(1) 身ごろを合わせる。次に図②のようにそでを(1) 身ごろ側に倒す。最後に図③のようにすそを(2) に合わせ、身ごろを半分の長さに折る。このようなたたみ方を(3) という。

- ア そで イ 前 ウ 肩山 エ 後ろ オ 本だたみ カ 夜着だたみ

8. 次の文はじんべいの縫い方の説明である。文中の()内に最も適切な縫い方、またはくけ方をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(同じ記号を二度使用してもよい)

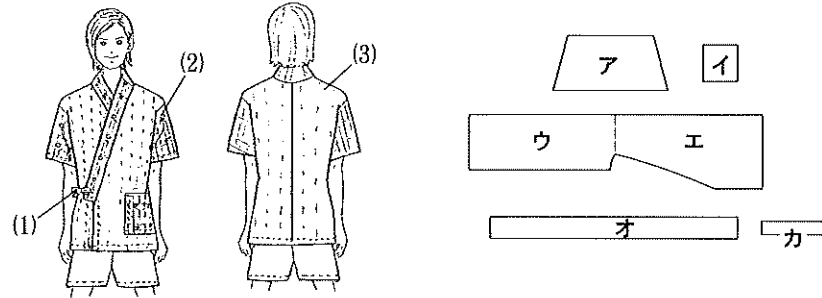
- (1) わきの縫いしろのしまつは()とする
(2) 背縫いは耳の場合()にし、左身ごろ側に倒す
(3) えりぐけは0.8cm程度の()にする
(4) そでつけ縫いしろのしまつは()とする

- ア 本ぐけ イ 耳ぐけ ウ 三つ折りぐけ エ 二度縫い

問 題	1		2			3			4	5		6		7			8					
	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	
2級和服(第51回) 解 答																						
得 点																						
学 校 名	高 校						学 年		組		番 号		名 前				合 計					

2級（和服）筆記問題

1. 下図はじんべいの各部の構成図である。(1)から(3)に最も適するものをアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



2. 次の文は、じんべいについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

じんべいは、かつてはおもに夏の（1）用室内着として着用されたものであるが、現在では性差のないおしゃれな（2）として男女ともに着ることができる。長着のたけを短くした形で、そではひじまでの短い長さでわきとえりにつけたひもを結んで着用する。

そで幅を広くし、やや（3）の無地の布地を用いると作務衣の上着になる。

ア 女性 イ 厚手 ウ 日常着 エ 男性 オ 薄手 カ 外出着

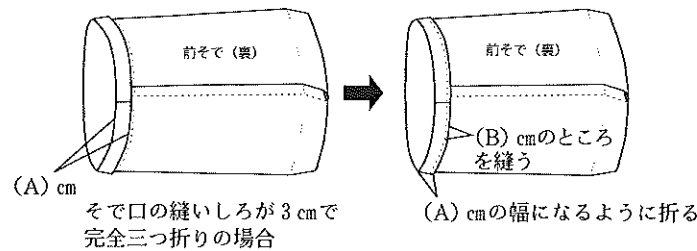
3. じんべいを製作する場合、次の(1)・(2)の採寸箇所から決まるできあがり寸法はどこか。最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 背たけ (2) 腰囲

ア 後ろ幅 イ えり肩あき ウ えり幅 エ 着たけ

4. じんべいの筒そでのそで口のミシンの縫い方について、次の問いに答えなさい。

(1) 図中の(A)・(B)に適する数値を解答欄に記入しなさい。



(2) 次の文の①・②に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

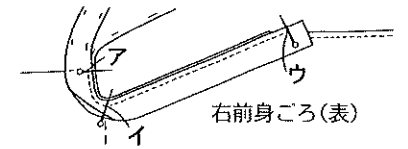
そで口をミシンで縫う場合は（①）から縫い始め、縫い終わりは（②）する。そで下のきせがきえないようにする。

ア そで上 イ そで下 ウ 重ね縫いを エ 突き合わせに

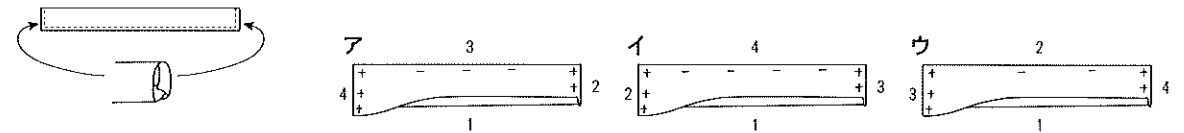
5. 右図はじんべいのえりつけのまち針を打つ位置を示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) ア・イは身ごろのどの位置に合わせるとよいか、それぞれ解答欄に記入しなさい。

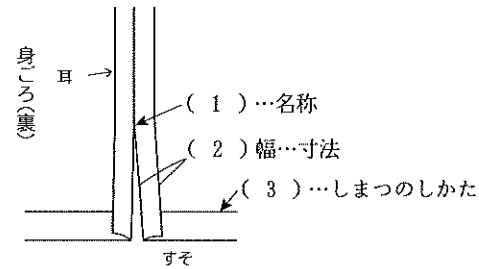
(2) アからウまでの中で1番目にまち針を打つ位置を一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. 下図はじんべいのひも作りについて示したものである。図のように仕上げるためにはどのような順序で縫いしろを折ればよいか。最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(図中の数字は折る順番である)

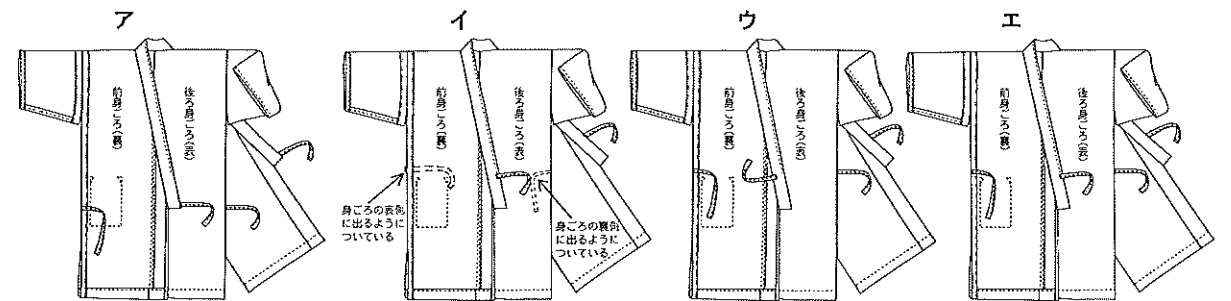


7. 下図はじんべいのわきの一部を示している。図中の(1)から(3)に最も適するものをアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 2 cm
- イ 3 cm
- ウ 三つ折りぐけ
- エ 三つ折り縫い
- オ スリットどまり
- カ 耳ぐけ

8. 下図はじんべいのひもつけ位置を示している。最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



問題	1			2			3		4				5		6	7			8
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		(3)			
							A	B	①	②	ア	イ							
2級和服(第52回)解答																			
得点																			
学校名	高校			学年			組		番号		名前			合計					

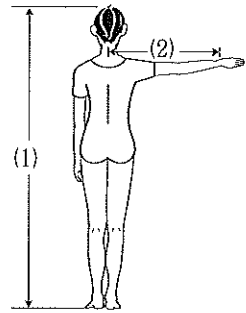
2級（和服）筆記問題

1. 次の(1)から(3)に最も適する語句を、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

和服は日本の（ 1 ）であるが、日常の衣生活が洋服中心となった現在でも冠婚葬祭時の（ 2 ）や、武道や伝統芸能分野の人々では和服着用が主流である。また、（ 3 ）は、夏祭りや花火大会などでの着用が浸透している。

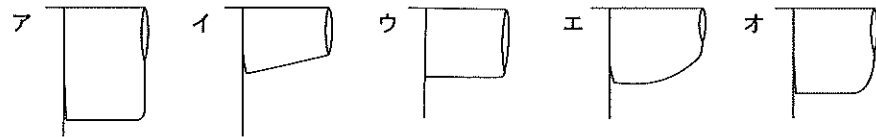
- ア ゆかた イ 帯 ウ 民族衣裳 エ 礼服 オ 染め

2. 次の(1)・(2)は女物の和服を製作する場合の採寸箇所を示したものである。適する名称をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

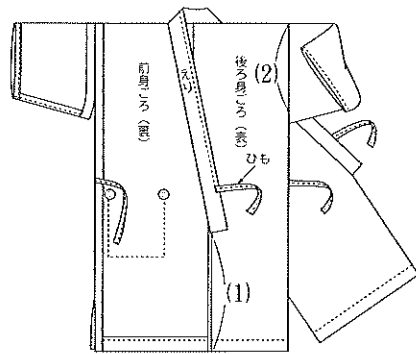


- ア 着たけ イ 身たけ
ウ そでたけ エ ゆき

3. 下図は和服のそでの形を示したものである。「筒そで」にあてはまるものをアからオまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



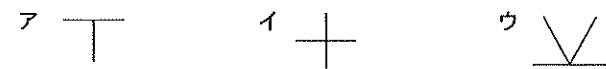
4. 大人用じんべいのできあがり図を見て、(1)・(2)の各部の名称を解答欄に記入しなさい。



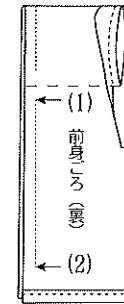
5. 90cm幅の洋服地（無地）でじんべいを製作する場合、布の見積もり方として最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。（身長160cm、腰囲90cmの体型とする）

- ア 着たけ×2 + そでたけ×2
イ （着たけ+3cm）×2 + そでたけ
ウ 着たけ×2 + そでたけ×2 + 20cm

6. へらを使ってじんべいのしるしつけをする場合、次の(1)・(2)に適する方法をアからウの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい



7. 右図はじんべいのわき縫いを示したものである。(1)・(2)の箇所を解答欄に記入しなさい。



8. 大人用じんべいを仕立てる場合、(1)・(2)に最も適する方法をアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

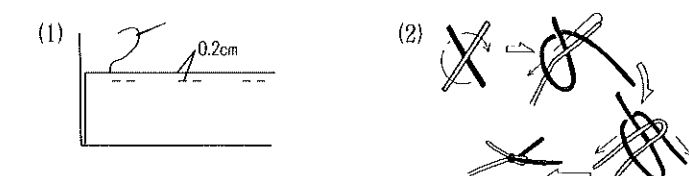
- (1) 背縫いしろは {
ア 割る
イ えり肩あきを左手に持ち手前に折る
ウ えり肩あきを右手に持ち手前に折る
(2) えりの本ぐけは {
ア 身ごろとえりを同じ針目ですくう
イ 身ごろよりえりの針目を大きくすくう
ウ 身ごろのえりつけの糸だけをすくう

9. 次の文はじんべいのひもつけについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

じんべいはウエスト位置を基準にえりとわきにひもをつけ、それらを結んで着用する。左の身ごろが（ 1 ）となるように着用するため、右わきのひもは身ごろの（ 2 ）に出るように、左わきのひもは身ごろの（ 3 ）に出るように縫う。

- ア 上前 イ 下前 ウ 表側 エ 裏側

10. 下図の(1)縫いしろのしまつと(2)糸の結び方の名称をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア はた結び イ こま結び
ウ 重ねぐけ エ 耳ぐけ

問題	1			2		3	4		5	6		7		8		9			10		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)		(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	
2級和服(第53回) 解答																					
得点																					
学校名	高校				学年			組			番号		名前				合計				

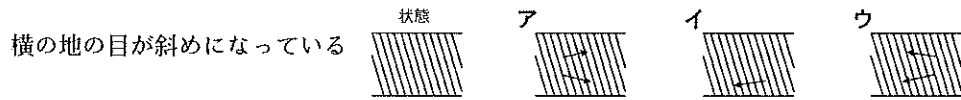
2級（和服）筆記問題

1. 次の文は寸法の決め方について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) はおおよそからだにあわせて着用する衣服なので、(2) のようにこまかく寸法をあわせる必要はない。しかし、形よく着用するためには、ある程度(3) にあわせて仕立てる必要がある。

- ア 体型 イ 身長 ウ 和服 エ 洋服

2. ゆかた地を用意したところ、下図のような布目のゆがみがあった。地直しの方法について最も適するものを、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



3. 次の(1)・(2)は和服の製作に用いる用語である。最も関係のある説明をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 四つどめ (2) 糸こき

- ア 運針やまつり縫いの途中または終了したあと、糸のつれやたるみをなくすため、指先でしごいて縫い目を平らになおすこと
 イ 表側には同じところに針を入れ、裏側では小さく十字になるように針を出すとめ方
 ウ 縫っている途中で糸が無くなった場合の処理である。その部分がほころびの原因や見苦しくならないように適切な方法を選ぶ
 エ そでつけどまり、えり先などを丈夫にとめる方法。表裏左右など四枚の布をとめる

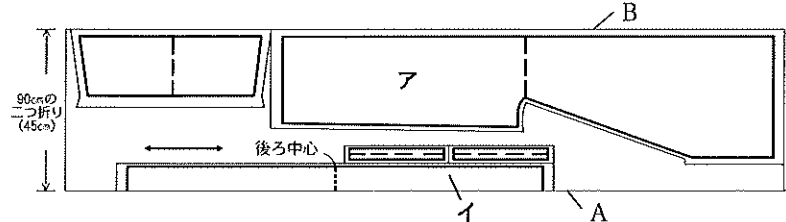
4. じんべいを製作する場合、「後ろ幅」のできあがり寸法はどの採寸箇所を基準にして決めるとよいか。最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 胸囲 イ 腰囲 ウ ゆき エ 背たけ

5. じんべいに適する生地をアからオまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

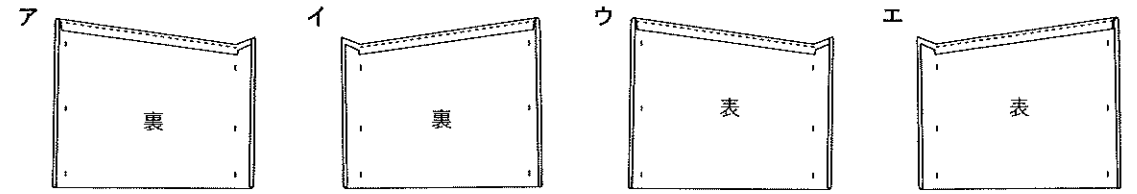
- ア オーガンジー イ サッカー ウ ギャバジン エ コーデュロイ オ ブロード

6. 下図は90cm幅の洋服地を使用して大人用じんべいを製作する場合の型紙の置き方である。下の(1)・(2)の各問いに答えなさい。



- (1) ア・イの名称を解答欄に記入しなさい。
 (2) 「耳」の部分はA・Bどちらか。その記号を解答欄に記入しなさい。

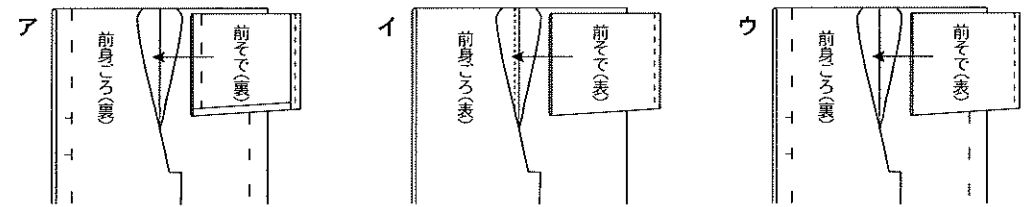
7. じんべいで「左そで」を作るとき、そで下の縫いしろの倒し方として最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



8. じんべいを仕立てる場合、きせをかける部分をアからオまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア えりつけ イ そでつけ ウ 背 エ わき オ ひも

9. 下図はじんべいのそでつけの方法を表したものである。そでと身ごろの正しい合わせ方をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



10. 次の文は大人用じんべいの仕立て方について述べたものである。(1)・(2)に適する語句を解答欄に記入しなさい。

わきは両わきにスリットを入れる。わきの縫いしろはまつは(1)とし、(2)・そでつけどまり・身八つ口どまり・スリットどまり・すそ縫いしろのはしをとめる。

11. 下図の(1)・(2)は和服の柄の種類を示したものである。それぞれの名称をアからエまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 井げた イ 麻の葉 ウ 七宝 エ 市松

問題	1			2	3		4	5	6			7	8	9	10		11		
	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)			(1)	(2)	(1)				(2)				
	ア	イ	(2)																
2級和服(第54回)	解答																	得点	
学校名				高校	学年	組	番号	名前								合計			

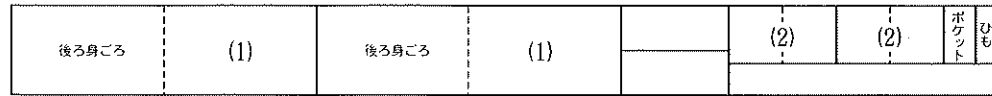
2級（和服）筆記問題

1. 次の文は衣服の構成について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

和服は、細長く織られた布を長方形に裁断し、人体をおおうように縫い合わされた平面構成である。人体に合わせるためにはひもや（ 1 ）が必要である。また、裏をつけない1枚仕立てのものを（ 2 ）、裏をつけて仕立てたものを（ 3 ）といい、季節に合わせて着装する。

ア 帯 イ 直線 ウ あわせ エ ひとえ

2. 下図は並幅のゆかた地を用いたじんべいの裁ち方を示したものである。(1)・(2)の各部の名称をアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



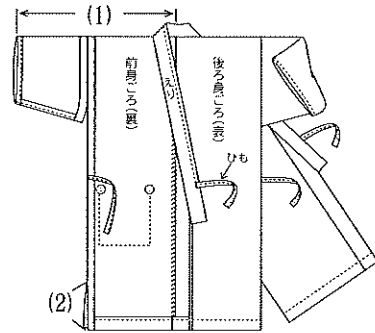
ア おくみ イ 前身ごろ ウ そで

3. 右図は和服の柄の種類を示したものである。柄の名称をアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア さや型 イ 井げた ウ 矢羽根

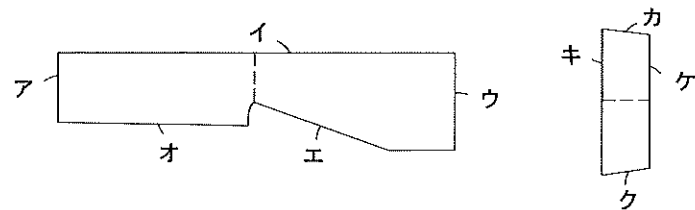


4. 下図は大人用じんべいのできあがり図である。(1)・(2)の名称をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



ア そで幅
イ ゆき
ウ えり下
エ スリット

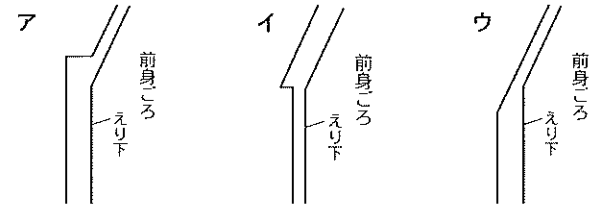
5. 下図は洋服地で製作する大人用じんべいの身ごろとそでの型紙を示したものである。布の「耳」にあわせて裁断する箇所をアからケまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



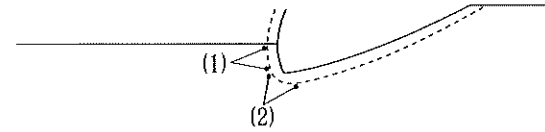
6. 次の文は大人用じんべいの仕立て方について述べたものである。(1)から(3)に適する語句又は数字を解答欄に記入しなさい。

- ・背縫いは（ 1 ）にする。
- ・えりのくけ方は（ 2 ）cm程度の（ 3 ）でえり肩まわりは小針にする。

7. 右図はじんべいのえりつけどまりの縫いしろのつけ方を示したものである。最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



8. 下図はじんべいのえりつけ部分である。(1)・(2)の部分に適するつり合いをアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

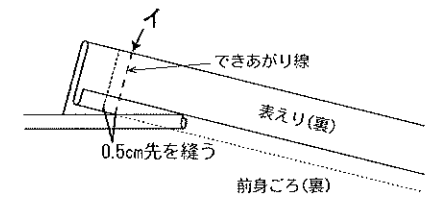
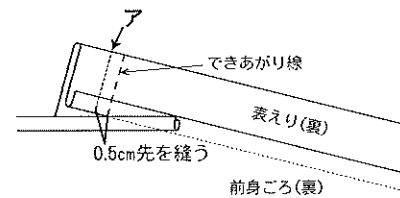


ア 身ごろをゆるめる
イ えりと身ごろを平らにする
ウ えりをゆるめる

9. 下図はえり先のしまつを示したものである。折りたたむ位置として最も適切なものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

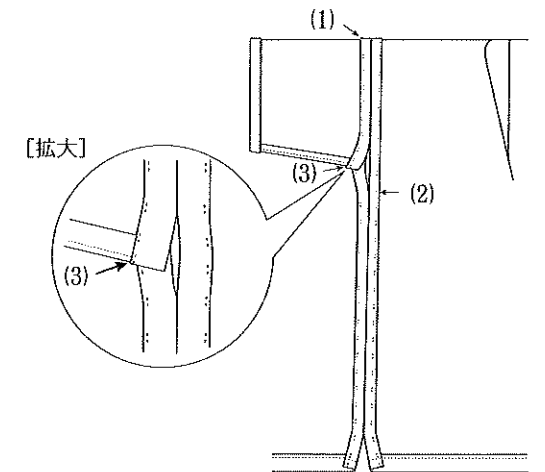
ア できあがり線から0.5cm先を縫った位置

イ できあがり線の位置



10. 右図はそでつけとわきの縫いしろのしまつを示したものである。耳ぐけをする時、必ず表に針目を出す箇所がある。その箇所のうち(1)から(3)の名称をアからカまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 肩山
イ すそ縫いしろの両端
ウ そで下縫いしろの端
エ 身八つ口どまり
オ そで下のきせ山
カ そで山



問題	1			2		3	4		5	6			7	8		9	10		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)		(1)	(2)		(1)	(2)	(3)		(1)	(2)		(3)		
2級和服(第55回)解答																			
得点																			
学校名	高校				学年		組		番号		名前				合計				

2級（和服）筆記問題

1. 次の文は針について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

針は、(1) に適したものを選ぶことが大切である。綿の縫い針には3の2や3の3、くけるときやしつけをかけるときには、3の4や3の5を使うとよい。針の名称のはじめの数字は(2)を表し、数字が大きいほど(3)なる。

ア 短く イ 布地 ウ 太さ エ 長さ オ 細く

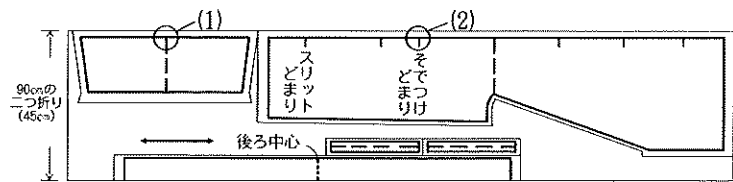
2. 下図のじんべいのできあがり標準寸法について、(1)・(2)の各部寸法の割り出し方法に最も適するものを、アからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 後ろ幅
(2) 前幅



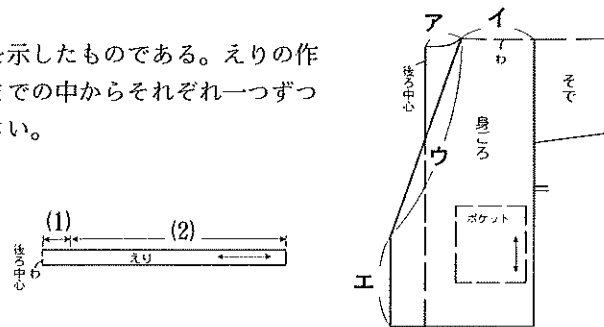
ア $\frac{\text{腰囲}}{4} + 6 \text{ cm}$ イ $\frac{\text{腰囲}}{2} - 8 \text{ cm}$
 ウ $\frac{\text{腰囲}}{4} - 8 \text{ cm}$ エ $\frac{\text{腰囲}}{2} + 6 \text{ cm}$

3. 下図はじんべいのしるしつけを示したものである。(1)・(2)の部分に適したしるしつけの方法をアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んでその記号を解答欄に記入しなさい。

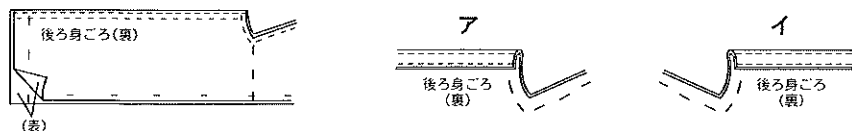


ア イ ウ

4. 右図は大人用じんべいの作図の一部を示したものである。えりの作図の(1)・(2)に合わせる部分をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

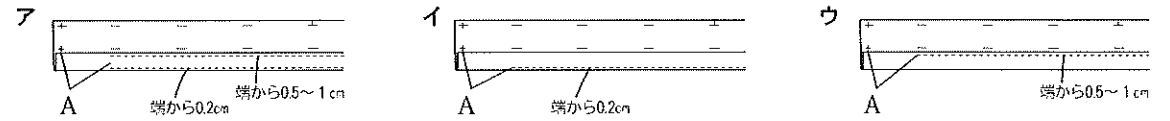


5. 下図のようにじんべいの背縫いをした場合、縫いしろの倒し方で最も適するものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい



6. 下図はじんべいのえりつくりを示したものである。(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) えりしんになる部分の押さえミシンのかけ方について最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



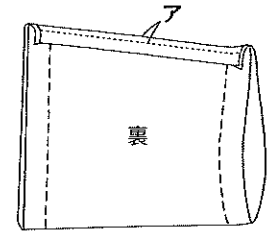
(2) 図中Aの部分に最も適する寸法をアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 30cm イ 15cm ウ 5 cm

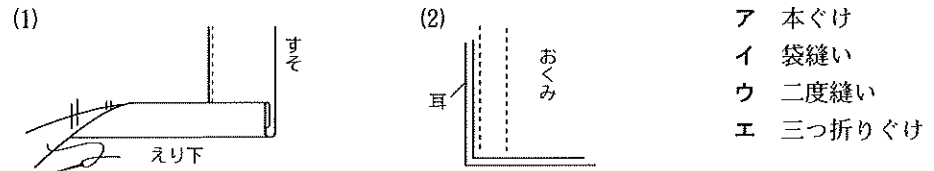
7. 右図はそでつくりを示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 図中のアにきせをかける際、最もふさわしいきせ分量を解答欄に記入しなさい。

(2) この図のそでは左右どちらのそでができあがるか。解答欄に記入しなさい。



8. 下図は大人用じんべいの縫いしろしまつである。(1)・(2)の縫い方の名称について適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

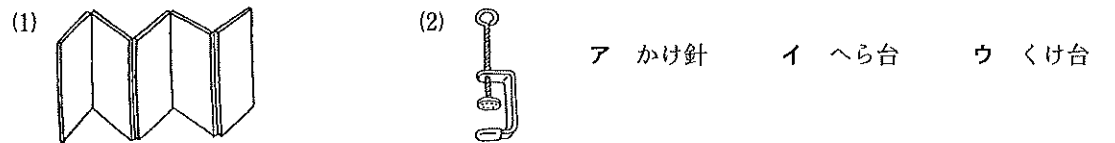


ア 本ぐけ
イ 袋縫い
ウ 二度縫い
エ 三つ折りぐけ

9. 次の文は大人用じんべいの仕立て方について述べたものである。(1)・(2)に適する語句又は数字を解答欄に記入しなさい。

・ひもは共布で(1)本作り、(2)とわきにつける。

10. 次の(1)・(2)の裁縫用具の名称をアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



ア かけ針 イ へら台 ウ くけ台

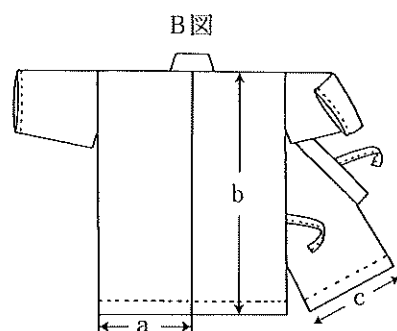
問 題	1			2		3		4		5	6		7		8		9		10	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
2級和服(第56回)解答																				
得点																				
学校名	高校				学年		組		番号		名前				合計					

2級（和服）筆記問題

1. じんべいを製作する場合、次の(1)・(2)の採寸箇所から決まることができ、あがり寸法はどこか。A群のアからエまでの中から最も適するものを、B図のaからcまでの中から適するものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 背たけ (2) 腰囲

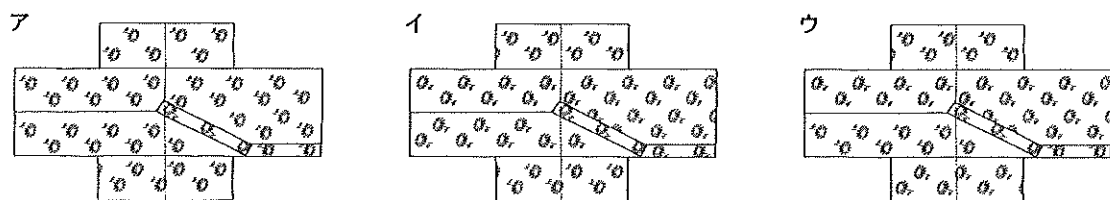
A群 ア 後ろ幅 イ 着たけ ウ えり幅
エ えり肩あき



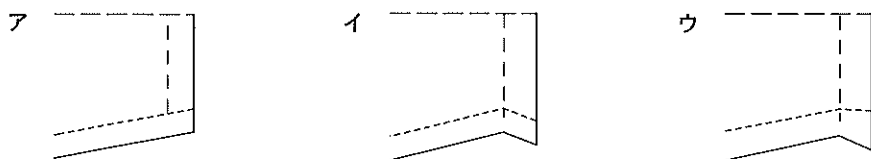
2. へらを使ってじんべいのしるしつけをする場合、次の(1)・(2)に適する方法をアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 肩山 (2) 身八つ口どまり
ア イ ウ

3. 下図はじんべいの柄合わせについて示したものである。最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



4. 下図はじんべいのそで下縫いを示したものである。そで口の縫いしろのつけ方および縫い方について最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



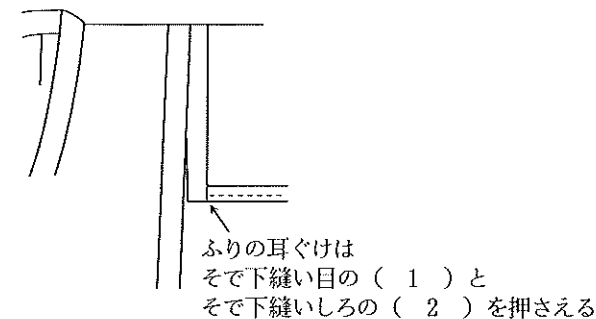
5. じんべいの背縫いを袋縫いで仕立てる場合の順序について、(1)から(3)に最も適するものをアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ① 背中心を（ 1 ）に合わせ、布端から0.5cmのところを縫う。
- ② 布を裏返し、折り山が突き合わせになっている状態にする。これを毛抜き合わせという。
- ③ 背中心をしるしどおりに縫う。
- ④ （ 2 ）cmのきせをかけ、縫いしろを（ 3 ）身ごろ側に倒す。

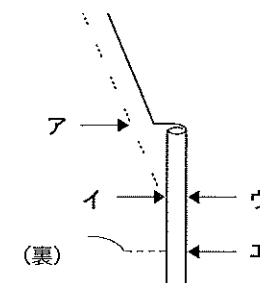
ア 中表 イ 外表 ウ 右 エ 左 オ 0.2 カ 0.5

6. 右図はじんべいのそでつけおよび縫いしろのしまつについて示している。図中(1)・(2)に最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

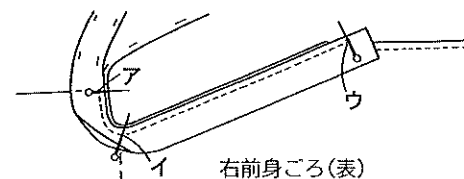
ア 端 イ きせ山
ウ そでつけ エ 耳ぐけ



7. 右図はじんべいのえりつけどまりの位置を示している。最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



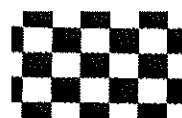
8. 下図はじんべいのえりつけのまち針を打つ位置を示したものである。アからウまでの中で1番目と2番目にまち針を打つ位置をそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. ゆかた地でじんべいを製作するとき、(1)から(3)の各部の縫い方として最も適切な縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。

(1) えり下 (2) えりのくけ方 (3) そで下

10. 下図は和服の柄の種類を示したものである。正しい名称をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



ア 亀甲
イ 井げた
ウ 市松

2級和服(第57回)	問題	1		2		3	4	5			6		7	8		9			10	
		(1)		(2)				(1)	(2)	(1)	(2)	(1)		(2)	1番目	2番目	(1)	(2)		(3)
		A群	B図	A群	B図															
解答																				
得点																				
学校名				高校	学年		組			番号		名前						合計		

2級（和服）筆記問題

1. 次の(1)・(2)は和服の製作に関する用語である。最も関係のある説明をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 毛抜き合わせ (2) 糸こき

- ア 前と後ろ又は右と左など双方の布地がどちらへも控えられずに突き合わせになっていること
- イ 縫い合わせた縫いしろを、縫い目どおりに折らずに深く折ること
- ウ 運針やまつり縫いの途中又は終了したあと、糸のつれやたるみをなくすため、指先でしごいて縫い目を平らにすること
- エ 表地と裏地が離れるのを防ぐため、縫いしろどうしをとじあわせること

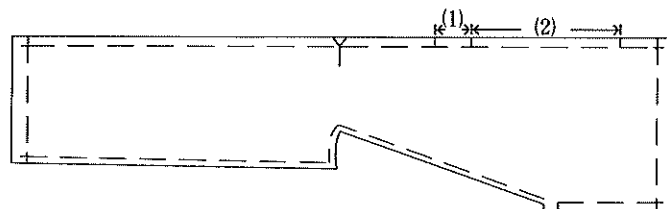
2. きせをかける目的について、次のアからウまでの中から最も適するものを一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 丈夫にするため
- イ 布地のゆがみを直すため
- ウ 表に縫い目が見えることを防ぐため

3. じんべいに適する生地をアからエまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

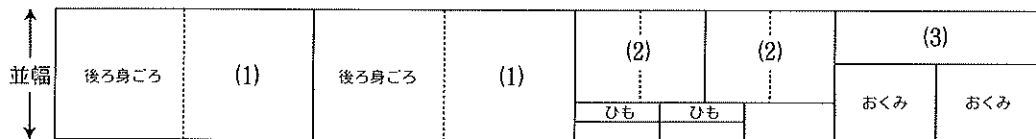
- ア コーデュロイ イ ブロード ウ オーガンジー エ サッカー

4. 下図は大人用じんべいの身ごろのしるしつけを示したものである。(1)・(2)の名称に最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

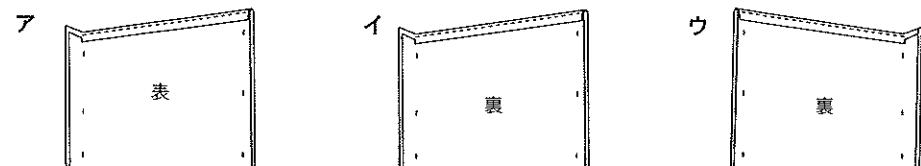


- ア わき
- イ スリット
- ウ そでつけ
- エ 身八つ口

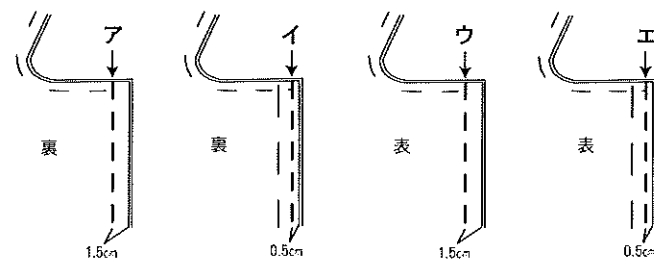
5. 下図は並幅のゆかた地を用いたじんべいの裁ち方を示したものである。(1)から(3)の各部の名称を解答欄に記入しなさい。



6. じんべいの右そでを作るとき、そで下の縫いしろの倒し方として最も適するものをアからウまでの中から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



7. 右図はじんべいの背縫いの方法を示している。袋縫いにする場合、中縫いの正しい位置をアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(背縫いしろは1.5cmで、耳を使用していない)



8. 次の文はじんべいのわき縫いについて述べている。(1)・(2)に最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

わきは両わきに(1)を入れる。わきの縫いしろしまつは(2)とし、肩山やすその縫いしろの端をとめる。

- ア 耳ぐけ イ 本ぐけ ウ スリット エ 割りつけ

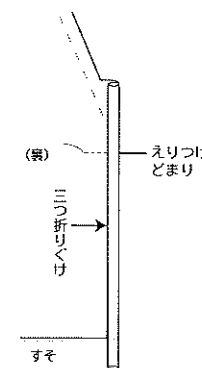
9. 右図はじんべいのえり下の三つ折りの図である。次の(1)・(2)の問いについて、最も適するものをアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) えり下の三つ折りぐけをするところでもっとも適するもの

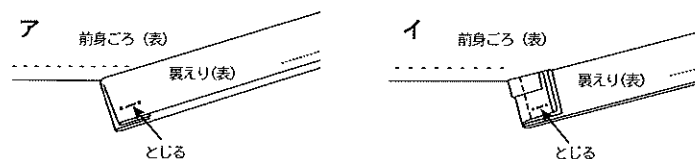
- ア えりつけどまりの高さからすそ線まで
- イ えりつけどまりの高さより4cm下からすそ線まで
- ウ えりつけどまりの高さより4cm上からすそ線まで

(2) すそ折り返し部分の表側に、三つ折りぐけの針目を出す理由

- ア 縫い目が飾りになるため イ 縫いしろを落ち着かせるため ウ すそが伸びないようにするため



10. 下図はじんべいのえり先のしまつを示したものである。折り方で最も適するものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



11. じんべいのひもつけについて、(1)から(3)に適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

じんべいはウエスト位置を基準にえりとわきにひもをつけ、左の身ごろが(1)となるように着用するため、右わきのひもは身ごろの(2)に出るように、左わきのひもは身ごろの(3)に出るように縫う。

- ア 表側 イ 裏側 ウ 上前 エ 下前

問 題	1		2	3	4		5			6	7	8		9		10	11		
	(1)	(2)			(1)	(2)	(1)	(2)	(3)			(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(3)
解 答																			
得 点																			
学校名			高校	学年		組		番号		名前			合計						